

Stage Up

ステージ・アップ
通巻 No.194
2013年10月1日
(隔月発行)

ホームページからも
ご覧いただけます!

もくじ

- 2 まち・ひと・多面体
- 3 シニアのパレット
- 4 特集
- 6 生涯スポーツ・かわさきの取組
- 7 施設めぐり
- 7 情報ポケット



切り絵シリーズー“川崎にある風景から”④
「秋麗」日本民家園『山田家』近くで 青木幸夫

誌上ギャラリー

川崎市立日本民家園は、急速に消滅しつつあるわが国の古民家を未永く将来に残すことを目的として、昭和42年に開園した野外博物館です。
昨年10月のある日、ぶらりと立ち寄ってみました。正門から少し歩くと合掌造りの古民家群が視界に入ってきます。越中五箇山の山田家を右手に見る小道で、金銀に輝くススキと可憐なコスモスが私を迎えてくれました。俳句の季語「秋麗(あきうらら)」が浮かびました。ひと時の印象を夢中になって切り取って、切り絵にしてみました。



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1
TEL 044(733)5560(代) / FAX 044(739)0085

<http://www.kpal.or.jp/>
Eメール: stage-up@kpal.or.jp



まち・ひと・多面体

～夢と笑顔、輝けみんなの町!～

こどもがつくる町 ミニたまゆい



2013年2月10・11日の2日間、麻生区にある田園調布学園大学のキャンパスで“こどもがつくる町 ミニたまゆい”というイベントが行われました。キャンパスには子どもたちの元気な声があふれました。

このイベントは、同大学が2005年から行っている子ども向けキャリア教育イベントです。企画段階から小・中学生が参加し、仮想の町をつかって社会の営みを体験します。

“市民登録”をした子どもたちは、職業紹介所で探した仕事をし、報酬として町の通貨ユリーで給与をもらいます。そのユリーで納税し、残金で食べものを買ったり、ゲームをしたりと、考えて使います。模擬裁判所で意見を言う裁判員も、様々な店を開いて



大きな声で客を呼び込む店員も、糸電話や髪留めなどの製作現場で働く工員も、全て子どもたちが主役です。キャンパス

につくられた“町”の中は真剣に取り組む子どもたちの熱気に包まれていました。

サポート役として子どもたちにかかわる大学生たちは、緊張し戸惑っている子に向かってさりげなく視線を合わせ、言葉を選びながら優しく声をかけます。そんな心づかいに支えられて徐々に緊張を解き、ほっとした表情を見せる子どもの顔も見られました。

今回は県立麻生総合高校の生徒や地域の人たちもボランティアとして参加し、2日間で延べ1,800人もの子どもたちが集まったとのこと。「子どもに戻って参加したいほど」という親からの声も聞かれ、ツイッター上には学生たちの熱い思いが書き込まれていました。

地域の企業などの協力も得て回を重ねるごとに充実してきているこの企画、今後の広がりを期待せずにはられません。

今年度の開催日 2014年2月8日(土)、9日(日)

■問合せ 田園調布学園大学 TEL 044-966-9211



▲小杉こども文化センター

震災の子どもたちに生きる力と夢を

～今できることから お互い様の精神で～

大学生による「とどろき学習室・よこはま学習室」の取組

「大学生にとって 生きた体験の場に」

2年前の東日本大震災を受け、神奈川県で避難生活をしている子どもたちに学習支援を続けている大学生たちがいます。彼らは、学習や悩みにも相談にのり、自ら生きた体験の場にしています。児童生徒たちの夢を諦めさせたくないという一念が学習支援を続ける支えとなっています。震災一ヶ月後に、鈴木健大(たけひろ)さんが中心となり、とどろきアリーナ避難所で立ち上げ、現在は約50人の大学生とともにJR武蔵小杉駅近くにある「小杉こども文化センター」とJR横浜駅近くの「横浜西区社会福祉協議会」で週2回ずつ開催しています。大学生と児童生徒は、年齢が近いこともあり気軽に教え聞き合い、相談できるという効果を生み出しています。支援対象者と時間は、中学生と高校生が中心ですが、開催時刻が遅いこともあり、小学生は保護者同伴で行っています。



▲とどろき学習室

大学生は、児童生徒に寄せる思いや目標があるため、疲れも見せずに丁寧な学習支援を続けています。



被災地での学習支援

「生きる力と夢を」

とどろき学習室は、小中高校生合わせて約15名が学んでいます。また、被災地に出向き学習支援も行っています。学年を超えて学び合う姿は、多世代教育を見ているようです。大学生が、子どもたちに進学の動機や夢・目標などを語り、自分自身のキャリア教育に繋げ児童生徒とのふれあいの場にしています。「両学習室の児童生徒が生きる力と夢を持ち続けてほしい。」という教育理念は、児童生徒にも受け入れられ、頼もしいお兄さんやお姉さんの役割を担っています。鈴木健大さんは、『この学習支援は決して人助けの気持ちでしているのではない。子どもたちに生きる力と夢を持ち続けてほしいだけです。私たちがその繋ぎとしてかわればよいと思っています。それが楽しい。』と話されていたことが心に残ります。

■問合せ：慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科
鈴木健大 TEL 080-5645-6924



▲被災地での学習支援



▲菜の花と南緑道

緑道の環境整備が和みの花となり ～中丸子南緑道を守る会の取組～



中原区玉川地区の南武沿線道路から少し横道に入ったところに、中丸子南緑道があります。緑道口には、季節ごとの花々が咲き道行く人たちを出迎えます。南緑道を通ると、そこに咲く花から気持ちが癒されるといいます。この南緑道の整備は今から20年前に、近隣に住む一人のボランティアから始まりました。現在は、賛同する人たちも増えて、活動の清掃や水やり、土の耕し、種まき、除草、草花の剪定等を一日も欠かさずに続けられています。『毎日の活動を楽しみながら、決して無理をしないようにしています。』と取材に笑顔で応えていたことがとても印象的でした。

南緑道の変遷

南緑道は、四季折々の花が咲き、道行く人たちを楽しませてくれています。

以前の南緑道は、今とは比べものにならないほどの雑草で覆われ、ごみ捨て場ようになっていたそうです。この緑道と学校との境目の壁には、心無い落書きがされて、この荒れた南緑道を何とかしたいと思っている人たちがいたといわれています。



▲花壇の整備活動

緑化活動15年記念歌制作

平成21年に緑化活動15年を記念して、「南緑道四季の詩」が会員によってできました。この歌を口ずさみながら活動している人がいると伺いました。また、緑道内に記念歌碑を設置する計画があるとのことでした。



▲記念誌 ▲記念歌

小学校との連携

数年前に、玉川小学校から「稀少価値のある津久井大豆」の栽培協力依頼があり、耕作から収穫まで子どもたちと一緒に活動したと言います。収穫はそんなに多くはなかったが子どもたちと一緒に体験できたことは、私たちにとっても良い体験となったのではないかと話していました。「南緑道を通して、学校へ通う子どもたちの成長が楽しみ。兄もあんなに大きくなり、弟も小学校に通い始めたんだよ。」と花の成長に重ねて笑顔で話されていました。

学校も地域も花いっぱい！



会では花いっぱいの学校や地域にしたいという思いから、毎年春には近隣の玉川小学校へパンジーを届けています。永きにわたって緑道整備の活動が認めら

最初は、一人の地道な力で



▲緑を守る会の皆さんと

平成7年故高橋昌良さんが、毎朝、箒を片手に自宅の近くから平間駅までの南武線沿い道路を清掃していました。高橋さんは、徐々に清掃範囲を広げて現在の南緑道までできました。その活動を見ていた人たちから『大変ですね。でも綺麗なお花を見ながら、ここを通り過ぎることが楽しみの一つとなっています。』と声をかけられたことで高橋さんは、更に熱が入って行きました。今では多くの協力者が早朝から夕方まで清掃や手入れをしながら活動の輪を広げています。

現在は、野口宗廣さんが会長となって中丸子南緑道を守る会の活動を支えています。



▲花の配布準備

花と同じように、私たちの生活リズムも決まっている



▲南緑道入口に咲く紫陽花

南緑道で活動している人たちは、普段から活動に支障が起きないように生活のリズムを整えるようにしているといます。それが健康にも繋がると言い、南緑道への強い思いを感じます。

5、6月は、藤や紫陽花が咲き、道行く人たちが楽しみにして通っていくといひます。(地域から意見を頂く意見箱が設置されています)

ミッドガキのパスポート

れ、平成19年に「わがまち花と緑のコンクール」で**団体部門大賞**や**審査員特別賞**。同年に、前会長の浦野昭志さんが、**環境功労賞**を受賞されました。

藤や紫陽花の咲く頃、各人が持ち寄ったお茶菓子を食べながら会員と親睦を図ったり、緑道で子どもたちと「流しソーメン」をしたりするなど楽しい会を行っています。

花と子どもたちに囲まれながら活動されている会員の皆さんがとても健康である秘訣がなんとなく分かるような気がしました。

■問合せ：野口宗廣 TEL 044-411-2807



思いっきり スポーツの秋! ～生涯スポーツ・かわさきの取組～

川崎市スポーツ推進計画では、市民がスポーツを楽しみながら、健康で明るく活き活きとした生活が過ごせるまちづくりをめざしています。今回「生涯にわたってスポーツを元気に楽しめるまちづくり」の取組から、①今、自分が持っている力で気軽に継続的に参加できる「歩くスポーツ」、②世代間を超えて楽しみ、人間関係にも繋がるよう様々な工夫された「楽しむスポーツ」の2点について紹介します。
各区のスポーツ推進委員が中心となって取組まれている生涯スポーツの一つひとつは、川崎市民の健康と人間関係づくりに大きく貢献されていることに繋がっています。
秋は、運動しやすい季節です。市民の皆さん思いっきり体を動かしてみませんか。

① 誰でも気軽に参加できる歩くスポーツ



▲中原歩こう会「八丁堀～スカイツリーまでのコース」2013.6.9

中原区 「中原歩こう会」は毎月一回行われ、現在までに40年以上も続いている取組です。参加者の健康意識の高さを強く感じます。企画、運営は、区のスポーツ推進委員が行い、年間2回を遠隔地で開催しています。

6月9日(日)は、東京の八丁堀から今話題のスカイツリーまで約5kmを150名以上が参加して行われました。参加者から「仲間と話をしながら歩くため、長い距離も気にならず、楽しいですよ。若さの秘訣かな!」の感想に成る程と納得しました。

ウォーキングで自然と楽しみ、ウォーキングで仲間と触れ合い、ウォーキングを生涯スポーツに。



▲さいわい歴史散策コースパンフレット

幸区・宮前区 両区は、「さいわい歴史散策コース」・「みやまえ坂道ウォーク」のパンフレットを作成しています。幸区は、点在する史跡等を巡りながら体力の維持と体力の向上に繋がっています。宮前区は、辛い坂道を逆に生かした「逆転の発想」で取り組んでいました。両区は、パンフレットの内容がわかりやすくできているため、個人参加でも楽しむことができます。コースを自由に選択しながらマイペースで歩けることが魅力の一つです。わが町の再発見と気持ちの切り替え、健康づくりの点では、効果的な取組といえます。



▲みやまえ坂道ウォークパンフレット

パンフレットの発行

- さいわい歴史散策コース:平成22年に幸区まちづくり推進委員会が編集し、幸観光協会が発行。
- みやまえ坂道ウォーク:宮前区区民会議が作成し発行。

※各区役所にお問合わせください。

歩くスポーツの取組は、他の区においても行われています。

生涯スポーツの担い手として活躍するスポーツ推進委員

各区のスポーツ推進委員は、川崎市スポーツ推進計画に基づきながら生涯スポーツの定着に向けた取組を行っています。区の地域振興課(スポーツ推進室)と連携を図り、毎年行われているスポーツ活動(町会運動会、リレーカーニバル、ソフトボール大会、バレーボール大会、ランニング大会、ドッジボール大会、区民体力テスト等)の企画や運営にも携わっています。

② 世代間を超え仲間と楽しむスポーツ



カローリング

【川崎区】 冬季オリンピックで人気となったカーリングを床で行うように工夫されたカローリングは、世代間を超えて楽しめるのが大きな特徴です。チームも3人で1チーム・個人や団体参加も競技が可能です。今後の課題としては、競技人口を増やすためにも小・中学校の児童生徒に関心を持ってほしいと言います。現在、学校の先生方にも参加を呼びかけ、ルールや競技方法を伝えています。カローリングを通じて、地域の輪が広がることを担当者は望んでいます。

【幸区】 「ホールインワンやった!」グラウンドゴルフは、通過点に少ない回数で入れた合計点によって競います。自分の技能向上で十分に楽しめるため人気上昇中です。シャフトを自前で用意する人もいる程の熱の入れようです。敵味方なく良いプレーに対して褒め合っていました。他にリレーカーニバルは、幸区の伝統競技の一つとして定着しています。



グラウンドゴルフ

【中原区・高津区】 中原区の小杉駅周辺は再開発により、高層マンションが建設された街は、随分変わってきています。この状況の下、スポーツ推進委員は地域との関わりを持つために、中原区総ぐるみみスポーツ大会や多摩川ロードレース、子どもから大人まで楽しめるドッジボール、スポーツラリー等を企画、運営し地域の交流を深めています。また、高津区の高津総合型スポーツクラブSELFは、地域住民が中心になってクラブを運営しています。幼児から高齢者まで参加することができるため地域コミュニティの活性化にも繋がり、好評を得ています。(高津総合型スポーツクラブSELFについては、ステージアップNo.188号シニアのバレットで紹介しています。生涯学習財団のHPから見られます。)

【宮前区】 ドッジボールのボールをディスクにかえて始まったドッチビーは、突き指等の怪我が少なく、子どもから高齢者まで楽しめるスポーツとして人気上昇中です。向丘地区の小中学生による「宮前区ドッチビー大会」は、今年で7回目をむかえ、200名を超える子どもたちが参加し、定着してきています。担当者は、これからも宮前地区のスポーツ推進委員が中心となってドッチビー大会を盛り上げていくことを期待しています。



ドッチビー



体力テスト

【多摩区・麻生区】 両区は、スポーツセンターを活用して体力テストを行っています。今の自分の体力状況を知って、そこから体力を高めていく取組はとても大事なことです。事故やけがの防止にも繋がっていきます。自己の体力を総合的に把握しながら、体力づくりに取組んでいくためにも体力テストの数値は、大切なことです。健康志向の高まる昨今、体力テストに毎回参加される方が増えていると聞いています。生涯にわたって健康であり続けたいと願う区民の気持ちが十分に伝わってきます。

■今回取り上げたイベントに関して詳しく知りたい方は、各区役所の「地域振興課」へお問合わせください。

また、今回紹介した歩くスポーツや様々な工夫された楽しむスポーツの他にも、幸区で行われているリレーカーニバルのように、長く続いているスポーツ活動や年齢を超えて楽しめるスポーツの開発や工夫に積極的に取り組んでいます。このような一つひとつの取組が、川崎の生涯スポーツの推進と定着に大きく貢献しています。

今後もスポーツ推進委員が研修を重ねたり、区民の声を反映させたりして、川崎の生涯スポーツの定着と向上に向け取組まれていかれることを期待しています。

施設めぐり

市内公的施設および当財団が運営管理する施設のご紹介

有馬野川生涯学習支援施設(アリーノ)

東急田園都市線「鷺沼駅」からバス【鷺02】武蔵小杉駅行き
「有馬第二団地前」下車すぐ前 Tel 044-853-3737



▲愛称:アリーノ

アリーノは宮前区有馬・野川地区にある施設で、平成21年に開館し、今年で5年目を迎えました。地域の方々による文化・学習活動の支援と振興を図り、個性豊かで活力に満ちたまちづくりを目指しています。

1階には地域図書室があり、現在約1万3千冊を所蔵しています。市立図書館の予約本の受け取り館として指定、受取・返却が可能ですので、こちらも多くの方にご利用いただいています。他に集会室、会議室、和室、調理室などがあり、サークル活動からスポーツ・集会・発表会・講演会まで、生涯学習の場として利用いただけます。また自主事業として、年4回、



▲夏休み子どもフェスタ

季節ごとに開催している「アリーノ音楽コンサート」をはじめ、様々な文化講座など、高齢者から幼児までが楽しみ、学べるような企画を開催。大きな事業としては夏の「夏休み子どもフェスタ」、春の「アリーノフェスタ」があり、地域の方々から大きな協力をいただきながら開催しています。平成25年度から市民活動育成事業を立ち上げ、地域の生涯学習活動をサポートしています。



▲アリーノ音楽コンサート

地域に根差し、誰もが気軽に利用出来る施設です。ぜひご利用ください。

麻生市民館

小田急線新百合ヶ丘駅下車、北口から徒歩3分
Tel 044-951-1300

麻生市民館は麻生図書館との複合施設（麻生文化センター）として1985年7月にオープンしました。以来、麻生区の生涯学習の拠点として、多くの市民の皆様にご利用頂いています。麻生市民館の特徴は、駅から近く気軽に様々な講座に参加して頂けることだと思います。親子の自由な広場として「子育てフリースペース」を開催し、お母さんに向けた保育付き講座「HAPPY!ママライフ」や市民自主学級、市民自主企画事業、シニアの方が地域デビューするための講座など、幅広く実施しています。



▲麻生市民館



▲HAPPY! ママライフ

【生涯学習相談】

学んでワクワク！習ってイキイキ！充実ライフみつけませんか？
…そんなあなたのお手伝いをします。

麻生市民館では、毎週水曜日の午前10時から午後3時まで、生涯学習相談員（生涯学習相談員養成講座修了者）による、生涯学習相談を実施しています。サークル紹介や講座紹介、または“自分はこんなことが出来るけど仲間を作ってサークル活動したい”などの様々な相談を受けています。お気軽に相談に来て下さい。

大山街道ふるさと館

JR南武線武蔵溝ノ口駅・東急田園都市線溝ノ口駅下車、徒歩7分
東急田園都市線高津駅下車徒歩5分 Tel 044-813-4705



▲ふるさと子ども出前授業

発足5年目になる「子ども大山街道探検クラブ」は、参加児童が35人になり、毎月、活気にあふれた活動が展開されています。

大山街道ふるさと館は、大山信仰の道として庶民に親しまれた大山街道と二子・溝口がその宿場町として栄えたことを記念し、平成4年に設立されました。以来、当館では街道にまつわる歴史・民俗などの資料を常設展や企画展で紹介し、郷土の歴史や文化を理解する講演会などを開催しています。

特に、6月には館近隣の小学生396人に地域学習のための支援「ふるさと子ども出前授業」を、8月には中学生を対象に講話と実際に街道の史跡を見学する学習会を行っています。



▲街道の史跡見学

子どもたちが当館の事業を通して街道の歴史や文化にふれ、やがて地元への愛着や誇りと思える心情につながっていくよう、事業内容を充実させていきたいと思っています。

市内施設の各種取組と当財団が主催する講座等のご案内

情報ポケット

柿生郷土史料館

小田急線柿生駅下車、徒歩7分 Tel 044-988-0004

平成22年に開館。地域住民と柿生中学校が連携して作り上げた郷土史料館です。毎年、地域住民はもちろん周辺都市の方々も多数見学に訪れるなど、興味ある展示品や企画展などが行なわれています。



▲小学校の社会科移動教室

【主な展示物】

- ◆**社会科授業用実物資料**：「漢代青銅鏡」、「秦～唐代各種貨幣」、「エジプト象形文字入りスカラベ」、「五人組帳」、「宗門人別改帳」、「検地帳」、「草双紙」、「政体書」、「幕末・明治初期 太政官日誌」、「学問のすずめ」、「西洋事情」、「地券」他
- ◆**郷土史資料**：「縄文～弥生土器・石器」、「鎌倉時代 刀剣」、「室町時代 板碑」、「各種寺子屋教本(往来物)」、「江戸時代 生活古民具・農具」他



▲カルチャーセミナー

【催物と情報誌】

- ◆**カルチャーセミナー**：年6回実施、郷土史講座を中心に幅広い内容の講演会開催
 - ◆**「柿生文化」の発刊**：毎月1日発刊、各区図書館・市民館にも置いてあります。
 - ◆**特別企画展**：年1～2回開催 ◆**実物のミニ歴史資料展**：約年3回開催
 - ◆**小・中学校社会科移動教室**：史料館で郷土学習 ◆**夏休み特別企画**：郷土文化の伝承
- 【開館日時】 奇数月→日曜日、偶数月→土曜日 10：00～15：00



生涯学習プラザ ランチタイム ロビーコンサート フルートの二重奏をお楽しみください

フルートデュオ リベラム



10月18日(金)
12:10～12:40
川崎市生涯学習プラザ
1階ロビー

【曲目】

- ♪ 月の歌メドレー
- ♪ カルメン序曲 / ビゼー
- ♪ ラデッキー行進曲
- ♪ J. シュトラウス 他

JR南武線武蔵小杉駅下車、西口から徒歩12分
東急東横線武蔵小杉駅下車、南口から徒歩10分

出演者募集!

川崎市生涯プラザでは、毎月1回30分のランチタイムロビーコンサートを開催しています。無償で出演して下さる方は、ご連絡ください。お待ちしております。
出演日は、応相談。
出演時間：12時10分から12時40分
会場：川崎市生涯学習プラザ1階ロビー
申込・問合せ：公益財団法人 川崎市生涯学習財団
Tel：044-733-6626

かわさき市民アカデミー地域協働講座

「日本映画の巨匠たち・一味ちがう映画史講座Part2」



- 日時：12/11・18・1/15・22・29 (毎回水曜日) 13:30～15:00 全5回。受講料4,000円
- 会場：川崎市生涯学習プラザ
- 日本映画大学連携講座の学習内容は、後日チラシを配布しますのでご覧ください。

■問合せ・申込：NPO法人かわさき市民アカデミー Tel 044-733-5590

あとがき

■「継続は力なり」。頭ではわかっているが、いざ実行するとなると難しいものだ。■子ども時代に「どうして三日も続かないの」と言われたことを思いだす。■たとえ二日の経験や体験であっても、目標を立てて実行したのであればそれなりに貴重な二日であったと考えたい。■ところで物事に関心を示さず、目標を持たずに過ごしていると焦りや怖さを感じる時がある。■5月に最高齢で世界最高峰のエベレストに登頂した三浦雄一郎さんは『老いることは、怖くはない。目標がなくなることが怖いのだ』と話しています。■今回取材した「とどろき学習室・よこはま学習室」の鈴木健大さんと大学生やミニたまゆり、20年以上公園の整備を続けている中丸子南緑道を守る会、川崎の生涯スポーツを推進している各区のスポーツ推進委員の皆様が活動目標を明確に持ち長い期間取り組まれている姿を見ていて、三浦雄一郎さんの言葉と重なってくる。

川崎市青少年の家

東急田園都市線宮崎台駅下車、徒歩12分
宮前区宮崎105-1 ☎ 044(888)3588



みんなで泊まって
充実した研修をしよう!

泊学



遊

川崎市青少年の家は宿泊をしながら、
学び、遊べる施設です。子どもから大人ま
で幅広くご利用いただけます。

詳しくはお問い合わせいただくか、ホームペ
ージをご覧ください。 [川崎市青少年の家](#) 検索



世界が、
混ざり合う。



Blend is Beautiful.

